

『子どもたちに「寄り添う」ということ』



人権尊重の教育の重要性は誰もが認識しています。一方で学校現場において、不登校や問題行動など様々な課題のある子どもたちに対して、本当の意味で「寄り添う」ことができているか、と問われれば、「まだ十分ではない」と答えざるを得ません。

それは私も含めて教育現場に携わる人間の多くが、かつて「教師から高い評価を得てきた子ども」であったことが、その一因としてあるように感じています。「積極的な生徒」「努力を惜しまない生徒」が評価される反面、そうでない生徒たちが学校内で疎外感を抱いていないか、常に意識していかなければならないと思います。

長く教育行政の立場から学校を見てきた視点から、そして実際に学校をあずかる立場となった視点から、さらには障害のある子どもを持つ親の立場の視点から、多角的に議論を深めていきたいと考えています。

講師： 建部 豊 統括校長（世田谷区立砧中学校）

日時： 2019年2月1日（金） 18:15～20:00

場所： 東京未来大学 スカイツリーライン（東武伊勢崎線）堀切駅徒歩2分
B225 教室 （正門を入れて左手側の建物2F）

申込み： 1月31日（木）までに FAX かメールでお願いいたします。

申込み先： 東京未来大学 こども心理学部 上田 征三

FAX：03-5813-2529

Mail：ueda-yukumi@tokyomirai.ac.jp

参加費 無料

建部 豊 氏のプロフィール

大学卒業後、都内の公立中学校で社会科教師となる。平成12年度以降、教育行政に入り、江東区、江戸川区の教育委員会、都教職員研修センター、都教育庁指導部で主に生徒の問題行動に関わる業務に従事する。また、長男が自閉症であることを様々な機会をとらえて発信し、障害のある子どもとその保護者への寄り添いの視点から、講演等も行っている。

平成30年度より18年ぶりに現場に復帰し、現職にある。

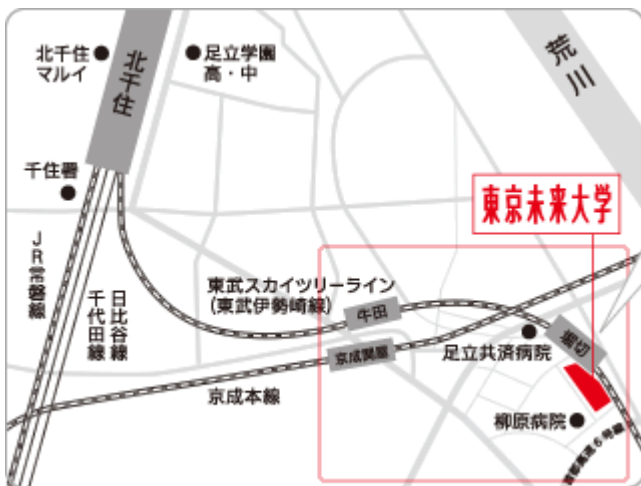
ご挨拶：本会は、今後の特別支援教育や障がい児・者福祉を考えることを目的に、上田征三・岡本明博（東京未来大学 こども心理学部）、学外研究協力者として藤田誠氏（元社会福祉法人あだちの里常務理事）・木村泰子氏（元都立南花畑特別支援学校校長）をお招きした任意の研究会です。

まずは、足立区を中心としたこれからの教育・福祉で何が課題になっているかを整理し、今後の教育・福祉の方向性を展望したいと考えています。そのために、今後とも、関係する皆様の幅広いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。お問合せ先：東京未来大学こども心理学部教授 上田 征三

『子どもに「寄り添う」ということ』

2019年2月1日(金)の建部 豊 氏の講演会に出席します。

番	所属	職	氏名
1			
2			
3			
4			



東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線)「堀切」駅より徒歩 2 分



京成本線「京成関屋」駅より徒歩 8 分



JR 常磐線・東京メトロ千代田線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス・
東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線)「北千住」駅より徒歩 15 分